

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3142387号
(U3142387)

(45) 発行日 平成20年6月12日(2008.6.12)

(24) 登録日 平成20年5月21日(2008.5.21)

(51) Int.Cl. F I
A 4 7 G 21/10 (2006.01) A 4 7 G 21/10 B
B 4 3 K 29/00 (2006.01) B 4 3 K 29/00 Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願2008-1928 (U2008-1928)
 (22) 出願日 平成20年3月31日(2008.3.31)

(73) 実用新案権者 506153103
 林慧芬
 台湾台南市和緯路5段261號
 (74) 代理人 100082418
 弁理士 山口 朔生
 (72) 考案者 林慧芬
 台湾台南市和緯路5段261號

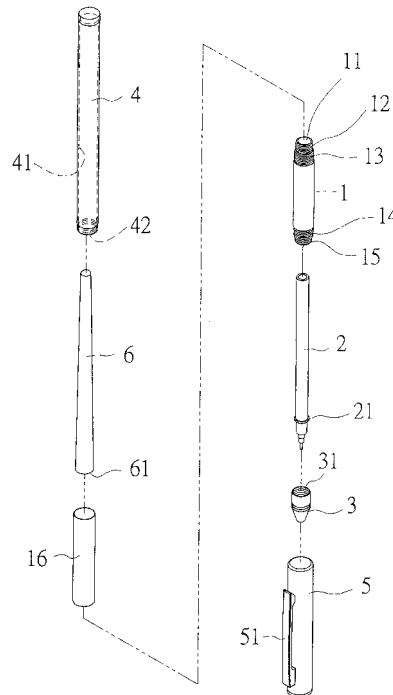
(54) 【考案の名称】 ペン機能付き箸

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】ペン、化粧ペン及び箸の機能を結合したペン機能付き箸を提供する。

【解決手段】チューブ形状を呈し、両端の外周面には、階段形状を呈する、第一ねじ段12と、第二ねじ段13と、第三ねじ段14と、第四ねじ段15と、がそれぞれ設けられており、中央の外周面にスリーブ16が覆っているチューブ1と、前記チューブ1に装入可能であるペン芯2と、前記ペン芯2が挿通して外部に突出可能であり、一端の内周面にねじ段が設けられており、前記チューブ1の第四ねじ段15に締付け可能であるペンヘッドキャップ3と、中空容器41であり、開口端の内周面にねじ段が設けられており、場合によって、前記チューブ1の第二ねじ段13又は第三ねじ段14に締付け可能であるケース4と、前記チューブ1のスリーブ16に嵌合可能であるキャップ3と、一端の内周面にねじ段が設けられており、前記チューブの第一ねじ段12に締付け可能である箸本体6と、を含む。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

チューブ形状を呈し、両端の外周面には、階段形状を呈する、第一ねじ段と、第二ねじ段と、第三ねじ段と、第四ねじ段と、がそれぞれ設けられており、中央の外周面にスリーブが覆っており、前記スリーブの直径が前記第二ねじ段と第三ねじ段との直径よりやや大きいチューブと、

前記チューブに装入可能であるペン芯と、

前記ペン芯が挿通して外部に突出可能であり、一端の内周面にねじ段が設けられており、前記チューブの第四ねじ段に締付け可能であるペンヘッドキャップと、

中空容器であり、開口端の内周面にねじ段が設けられており、場合によって、前記チューブの第二ねじ段又は第三ねじに段締付け可能であるケースと、

前記チューブのスリーブに嵌合可能であるキャップと、

一端の内周面にねじ段が設けられており、前記チューブの第一ねじ段に締付け可能である筭本体と、を含むことを特徴とする

ペン機能付き筭。

【請求項 2】

前記ペン芯の前端には、前記チューブの第四ねじ段の凸縁に押付けて止められる止め凸縁が形成されていることを特徴とする、請求項 1 に記載のペン機能付き筭。

【請求項 3】

前記チューブの第一ねじ段には、前記ペン芯の末端に押付ける閉鎖式の規制ブッシュが延ばれていることを特徴とする、請求項 1 に記載のペン機能付き筭。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、ペン機能付き筭の構造に関し、特に、ペン、化粧ペン及び筭の機能を結合したペン機能付き筭に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、廃棄式筭は、汚くて毒性があり、そしてカビの発生を防止することにより長期に保存できるために、作製過程に、二酸化硫黄を含む化学溶液に浸入することが必要であり、だから、廃棄式筭に残留する二酸化硫黄が食事のうちに使用者の消化器官に進入してしまい、使用者の健康に悪影響を与え、且つ廃棄式食器は、使用後に廃棄されるので、ゴミ量が膨大になり、環境保全に良くない問題があった。

【0003】

上記問題を解決するために、環境に優しい筭が開発され、その一つは、上筭体と、下筭体と、を含み、上筭体の下端に収容空間が設けられており、収容空間の内周面にねじ穴が開設されており、下筭体の上端にピンが設けられており、ピンの周面にねじが設けられており、色付きリングが前記ピンに嵌合されており、前記色付きリングは上筭体と下筭体の間に位置されている。もう一種類の環境に優しい筭は、上筭体と、下筭体と、を含み、上筭体の内部に中空な収容空間が設けられており、前記収容空間の内周面に環状溝が設けられており、上筭体の下端の近傍には貫通孔が開設されており、下筭体の上端に接続段が設けられており、接続段の周面に収容空間が設けられており、前記収容空間の他端に貫通孔が開設されており、前記収容空間の内部には、係り玉と、バネと、固定ブロックとが順次に設けられており、上筭体の外周面に挟み具が設けられている。

【0004】

上記の環境に優しい筭は、携帯性を向上するために体積が小型化されたものであり、なお、後者の筭に挟み具を設ける原因は、筭をポケットなどに固定し易いためであり、しかし、上記のような筭に別の機能を追加すると、実用性が更に向上する。

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】**

10

20

30

40

50

【 0 0 0 5 】

本考案の主な目的は、ペン、化粧ペン及び箸の機能を結合したペン機能付き箸を提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 6 】

本考案の請求項 1 に記載のペン機能付き箸によると、チューブ形状を呈し、両端の外周面には、階段形状を呈する、第一ねじ段と、第二ねじ段と、第三ねじ段と、第四ねじ段と、がそれぞれ設けられており、中央の外周面にスリーブが覆っており、前記スリーブの直径が前記第二ねじ段と第三ねじ段との直径よりやや大きいチューブと、前記チューブに装入可能であるペン芯と、前記ペン芯が挿通して外部に突出可能であり、一端の内周面にねじ段が設けられており、前記チューブの第四ねじ段に締付け可能であるペンヘッドキャップと、中空容器であり、開口端の内周面にねじ段が設けられており、場合によって、前記チューブの第二ねじ段又は第三ねじに段締付け可能であるケースと、前記チューブのスリーブに嵌合可能であるキャップと、一端の内周面にねじ段が設けられており、前記チューブの第一ねじ段に締付け可能である箸本体と、を含むことを特徴とするペン機能付き箸である。

10

【 0 0 0 7 】

本考案の請求項 2 に記載のペン機能付き箸によると、前記ペン芯の前端には、前記チューブの第四ねじ段の凸縁に押付けて止められる止め凸縁が形成されている。

20

本考案の請求項 3 に記載のペン機能付き箸によると、前記チューブの第一ねじ段には、前記ペン芯の末端に押付ける閉鎖式の規制ブッシュが延ばれている。

【考案の効果】

【 0 0 0 8 】

本考案のペン機能付き箸によれば、次のような効果がある。

(1) 本考案に係るチューブには規制ブッシュが設けられているので、油性ボールペンのペン芯を使用することができ、そして規制ブッシュを切って水性ボールペンのペン芯を使用することもでき、すなわち、一つのもので二種類のペン芯を使用することができ、金型を作製するコストが降下する。

(2) 場合によって締付け方式を変更すると、ペンとして使用することができるし、箸として使用することができ、これにより、一つのもので多種類のものとして使用することができる。

30

(3) 本考案は、油性ボールペン、水性ボールペン、アイブ로우、鉛筆、蛍光ペン、又は口紅ペンなどの種類のペンに適用可能である。

【考案を実施するための最良の形態】

【 0 0 0 9 】

以下、本考案の実施の形態を図面に基づいて説明する。

【実施例 1】

【 0 0 1 0 】

まず、図 1 を参照する。図 1 は本考案の実施例 1 の分解斜視図である。本考案の実施例 1 に係るペン機能付き箸は、チューブ 1 と、ペン芯 2 と、ペンヘッドキャップ 3 と、ケース 4 と、キャップ 5 と、箸本体 6 と、を含む。

40

チューブ 1 は、チューブ形状を呈し、両端の外周面には、階段形状を呈する、第一ねじ段 1 2 と、第二ねじ段 1 3 と、第三ねじ段 1 4 と、第四ねじ段 1 5 と、がそれぞれ設けられており、中央の外周面にスリーブ 1 6 が覆っており、スリーブ 1 6 の直径が第二ねじ段 1 3 と第三ねじ段 1 4 との直径よりやや大きい。

ペン芯 2 は、チューブ 1 に装入可能である。

ペンヘッドキャップ 3 は、ペン芯 2 が挿通して外部に突出可能であり、一端の内周面にねじ段 3 1 が設けられており、チューブ 1 の第四ねじ段 1 5 に締付け可能である。

【 0 0 1 1 】

50

ケース 4 は、中空容器であり、開口端の内周面にねじ段 4 2 が設けられており、場合によって、チューブ 1 の第二ねじ段 1 3 又は第三ねじ 1 4 に段締付け可能である。

キャップ 5 は、チューブ 1 のスリーブ 1 6 に嵌合可能である。

筈本体 6 は、一端の内周面にねじ段 6 1 が設けられており、チューブ 1 の第一ねじ段 1 2 に締付け可能である。

【 0 0 1 2 】

次に、図 2 乃至図 7 を参照しながら本考案の実施例 1 の使用状態を説明する。本考案の組付方法は、まず、チューブ 1 の中空体 1 1 にペン芯 2 (まず、水性のペン芯 2 を例にし) を嵌め込んで、水性のペン芯 2 の前端には、チューブ 1 の第四ねじ段 1 5 の凸縁に押付けて止められる止め凸縁 2 1 が形成されており、ペンヘッドキャップ 3 をペン芯 2 に嵌めてチューブ 1 の第四ねじ段 1 5 に締付けて、チューブ 1 の第一ねじ段 1 2 に筈本体 6 を締付けて、ケース 4 の収容空間 4 1 により筈本体 6 を覆うと共に、ケース 4 をチューブ 1 の第二ねじ段 1 3 に締付けると、図 3 及び図 4 に示すように、本考案はペンとして使用することができ、そしてペンとして使用しない場合には、チューブ 1 のスリーブ 1 6 にキャップ 5 を嵌合すると、本考案に係るペン機能付き筈を収納することができ、且つキャップ 5 に挟み具 5 1 が設けられているので、本考案に係るペン機能付き筈をポケットなどに固定可能である。本考案を筈として使用しようとする場合には、図 6 及び図 7 に示すように、ケース 4 をチューブ 1 の第二ねじ段 1 3 から外して筈本体 6 を露出して、チューブ 1 の第三ねじ段 1 4 にケース 4 を締付けると、本考案に係るペン機能付き筈は筈として使用することができる。

10

20

【実施例 2】

【 0 0 1 3 】

図 8 乃至図 1 1 を参照しながら本考案の実施例 2 の使用状態を説明する。本考案の実施例 2 は油性のボールペン 3 を使用し、チューブ 1 の第一ねじ段 1 2 には閉鎖式の規制ブッシュ 1 7 が延ばれており、チューブ 1 に油性のペン芯 2 を嵌め込んで、規制ブッシュ 1 7 を油性のペン芯 2 の末端に押付けて、ペンヘッドキャップ 3 をペン芯 2 に嵌めてチューブ 1 の第四ねじ段 1 5 に締付けて、チューブ 1 の第一ねじ段 1 2 に筈本体 6 を締付けて、ケース 4 の収容空間 4 1 により筈本体 6 を覆うと共に、ケース 4 をチューブ 1 の第二ねじ段 1 3 に締付けると、図 1 0 に示すように、本考案はペンとして使用することができ、そしてペンとして使用しない場合には、チューブ 1 のスリーブ 1 6 にキャップ 5 を嵌合すると、本考案に係るペン機能付き筈を収納することができ、且つキャップ 5 に挟み具 5 1 が設けられているので、本考案に係るペン機能付き筈をポケットなどに固定可能である。本考案を筈として使用しようとする場合には、図 1 1 に示すように、ケース 4 をチューブ 1 の第二ねじ段 1 3 から外して筈本体 6 を露出して、チューブ 1 の第三ねじ段 1 4 にケース 4 を締付けると、本考案に係るペン機能付き筈は筈として使用することができる。

30

【 0 0 1 4 】

なお、上記の実施例で、ペン芯は、油性ボールペン及び水性ボールペンを例にして説明したが、もちろん、ペン芯は、アイブロウであってもいいし、鉛筆であってもいいし、蛍光ペンであってもいいし、口紅ペンであってもいいし、その他の種類のペンであってもいい。

40

このように、本考案が、特定の例を参照して説明されたが、それらの例は、説明のためだけのものであり、本考案を限定するものではなく、この分野に通常の知識を有する者には、本考案の精神および範囲を逸脱することなく、ここで開示された実施例に変更、追加、または、削除を施してもよいことがわかる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 5 】

【図 1】本考案の実施例 1 の分解斜視図である。

【図 2】本考案の実施例 1 の動作を示す断面概略図 1 である。

【図 3】本考案の実施例 1 の動作を示す断面概略図 2 である。

【図 4】本考案の実施例 1 の使用状態を示す斜視図 1 である。

50

【図5】本考案の実施例1の使用状態を示す斜視図2である。

【図6】本考案の実施例1の動作を示す断面概略図3である。

【図7】本考案の実施例1の使用状態を示す斜視図3である。

【図8】本考案の実施例2の分解斜視図である。

【図9】本考案の実施例2の動作を示す断面概略図1である。

【図10】本考案の実施例2の動作を示す断面概略図2である。

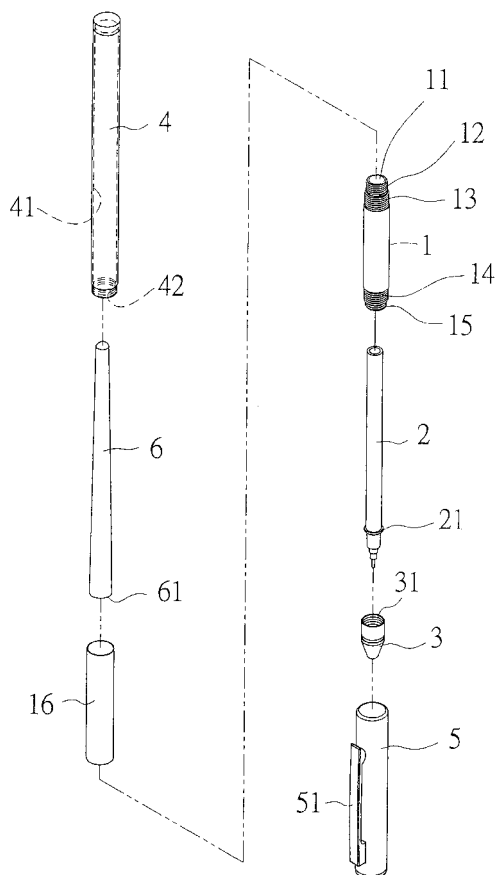
【図11】本考案の実施例2の動作を示す断面概略図3である。

【符号の説明】

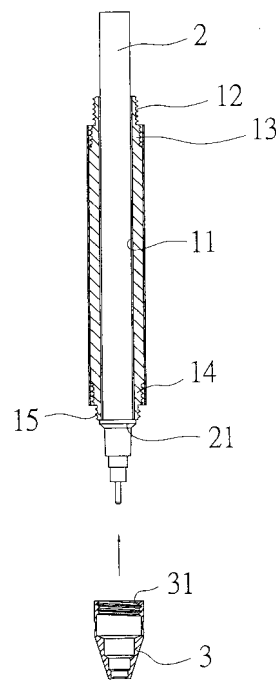
【0016】

1：チューブ、2：ペン芯、3：ペンヘッドキャップ、4：ケース、5：キャップ、6：
 管本体、11：中空体、12：第一ねじ段、13：第二ねじ段、14：第三ねじ段、15
 ：第四ねじ段、16：スリーブ、17：規制ブッシュ、21：止め凸縁、31：ねじ段、
 41：中空容器、42：ねじ段、51：挟み具、61：ねじ段

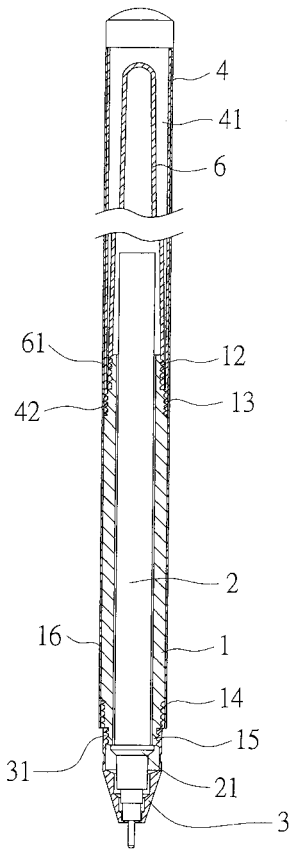
【図1】



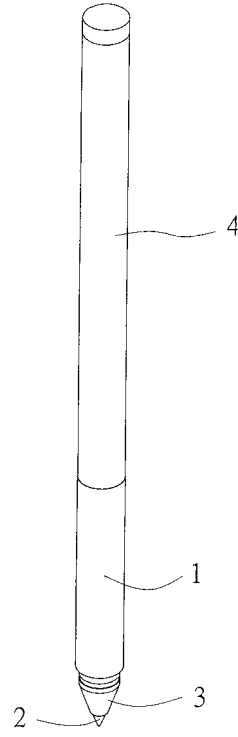
【図2】



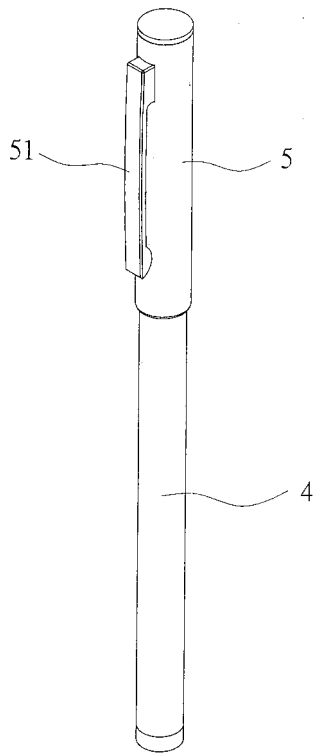
【 図 3 】



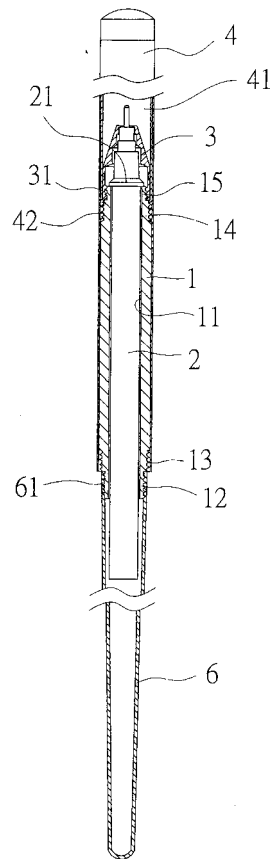
【 図 4 】



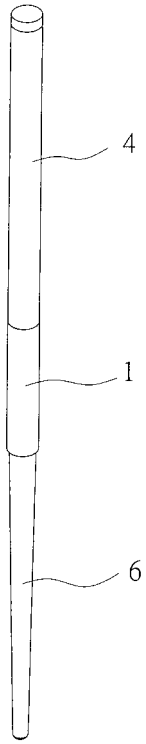
【 図 5 】



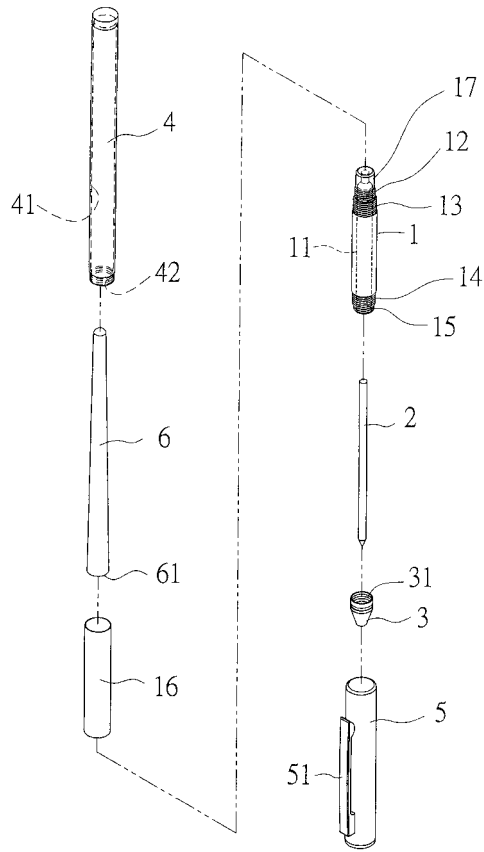
【 図 6 】



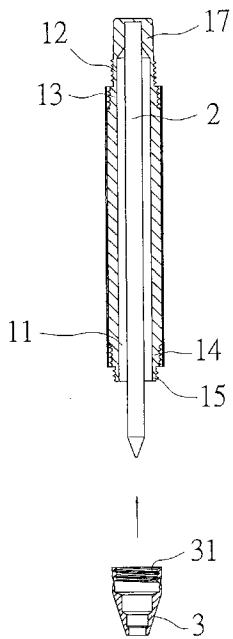
【 図 7 】



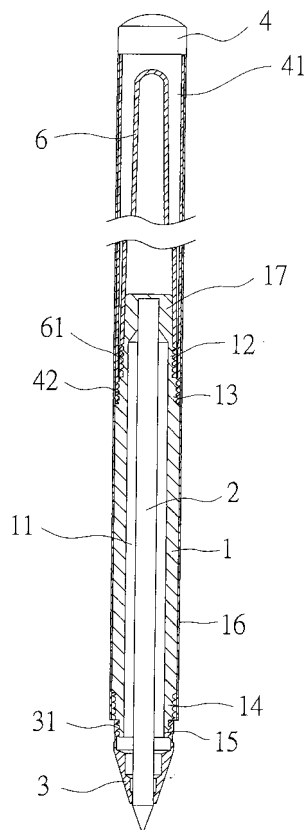
【 図 8 】



【 図 9 】



【 図 10 】



【図 11】

